

## 使用上の注意

# Fiery Color Profiler Suite、バージョン 4.6.2

本書には、このリリースに関する重要な情報が含まれています。インストールを始める前に、この情報をすべてのユーザーに知らせてください。

**メモ：**本書では、Fiery Color Profiler Suiteを「Color Profiler Suite」と表記します。

旧バージョンのColor Profiler Suiteを使用していて、ソフトウェアメンテナンスおよびサポート契約(SMSA)が有効な場合は、Updaterによってこの新しいバージョンが通知され、アップグレードを行うことができます。SMSAが期限切れの場合、通知は行われませんが、(メインウィンドウの「ヘルプ」>「アップデートを確認」を選択して) Updaterを実行すると、SMSAを更新したうえでアップグレードを行うことができます。

## このバージョンの新機能について

このバージョンのColor Profiler Suiteでは、以下の機能が新たに追加および強化されました。

- Fiery Express Profilerは、キャリブレーション設定やFiery搭載プリンターの出力ファイルをすばやく作成できる新しいモジュールです。また、Express Profilerでは、新しいキャリブレーション設定や出力プロファイルを使用してジョブの印刷をただちに実行できるように、新しいプロファイルで設定された仮想プリンターやプリセットも作成できます。
- Fiery Printer Profilerでは、新しいキャリブレーション設定または既存のキャリブレーション設定のどちらかを使用して、プロファイル作成前にキャリブレーションを実行できます。
- EFI Verifierには、以下に対する新しいサポートが含まれています。
  - Fogra PSD (Process Standard Digital)の印刷チェック
  - 最新のIDEAlliance ISO 12647-7 Control Wedge 2013
  - 最新のGRACoLおよびSWOP 2013キャラクタリゼーションデータ

## 測定器

### iOテーブルが再接続後に認識されない

iOテーブルが接続されたMac OSで実行中のColor Profiler Suiteでは、iOテーブルまたは分光測色計のどちらかを取り外して再接続すると、iOテーブルが認識されなくなります。Color Profiler SuiteでiOテーブルの使用を再開するには、iOテーブルの電源をオフにした後、もう一度オンにする必要があります。

2013年以前のiOテーブルを購入している場合、この問題が起こることがあります。



## ES-2000 の計測エラー

ES-2000 をルーラー付き (「ルーラー使用」をオンに設定) で使用している間に測定エラーが発生した場合、測定ページの位置が正しいことを確認してください。測定ページの位置を背景用ボードに合わせることで、測定の対象になる最初のストリップは固定クリップに最も近くなります。ルーラーをページの上部に配置して、最初のストリップ以外は見えなないようにします。各ストリップの測定が終了したら、ルーラーを移動して次のストリップが見えるようにします。

配置が正確な画像を表示するには、Printer Profiler のページ測定画面で「方法を表示」リンクをクリックします。

## Barbieri SpectroPad

Barbieri SpectroPad を使用した測定で最良の結果を得るには、測定を行う前に常に測定器のキャリブレーションを行ってください。

## Konica Minolta FD-5BT のキャリブレーション

Konica Minolta FD-5BT のキャリブレーションを行っている間は、キャリブレーションが完了するまで計器を押さえ続けます。キャリブレーション完了前に測定器から手を離すと、Color Profiler Suite が反応しなくなる可能性があります。

## Windows 7、 Windows 8

### プロファイル名が文字化けする

非 ASCII 文字 (日本語文字など) を含んでいる説明のプロファイルを保存した場合、Windows 7 または Windows 8 で起動しているアプリケーションで表示すると、説明の文字は ASCII 文字で表示されるため、化けることがあります。

## Updater

### 更新ページが英語で表示される

お使いの Color Profiler Suite がチェコ語、ポーランド語、韓国語、または繁体字中国語で動作している場合、Updater の「SMSA を更新」をクリックすると、更新されたウェブページが英語で表示されます。

### Konica Minolta FD-5BT のライセンスが見つからない

Konica Minolta FD-5BT 分光濃度計を Color Profiler Suite のライセンス取得のための Dongle として使用し、測定器として X-Rite iO2/iO または X-Rite i1 iSis も接続している場合、Color Profiler Suite では、ソフトウェアアップデートの有無の確認時にライセンスが認識されない可能性があります。アップデートの確認前に、X-Rite iO2/iO または X-Rite i1 iSis を取り外してください。

## Printer Profiler

### Fiery サーバーの接続

Printer Profiler が Fiery サーバーに対して印刷または保存を行っている途中で Fiery サーバーとの接続が遮断された場合、予期しない結果が生じる可能性があります。

### プロファイル処理中のキャンセル

新しいプロファイルの処理および保存の開始直後に Printer Profiler の動作をキャンセルした場合、Printer Profiler は応答しなくなる可能性があります。プロファイルの処理が始まったら 5 秒以上待ち、その後に保存をキャンセルしてください。

### デフォルトのキャリブレーション設定でインストールされたプロファイル

Printer Profiler では、測定値をプロファイルに変換してそのプロファイルを Fiery サーバーにインストールすると、プロファイルはデフォルトのキャリブレーション設定(デフォルトの出力プロファイルと関連付けられたキャリブレーション設定)と関連付けられます。Command WorkStation でプロファイル設定を編集することで、プロファイルを異なるキャリブレーション設定と関連付けることができます。

### (Mac OS) スライダーは最大値を設定しない

Mac OS 上の Printer Profiler では、「CMYK パッチオプション」または「ブラックコントロールの編集」ウィンドウでスライダーを右端までドラッグしてフィールドを最大値に設定しようとしても、表示される値が最大値より若干小さくなります。右矢印キーを使用すれば値を最大値まで増加させることができます。または、フィールドに直接最大値を入力してください。

### 一部の Fiery サーバーでの無効なキャリブレーション警告

Printer Profiler を使用して次のいずれかの Fiery サーバー用のプロファイルを作成すると、測定結果が現在のキャリブレーションに一致しないという警告が表示されますが、この警告は無視して「続行」をクリックしてください。

**メモ：**この警告は、Color Profiler Suite の環境設定で「キャリブレーション確認許容値」が選択されている場合にのみ表示されます。

- キヤノン imagePRESS Server A3200、A2200、A1200
- キヤノン imagePRESS Server A3100、A2100、A1100
- キヤノン imagePRESS Server A3000、A2000
- キヤノン imagePRESS Server Q1、Q2
- キヤノン imagePRESS Server T1
- キヤノン PS-GX100、PS-GX200
- キヤノン ColorPASS-GX100、ColorPASS-GX200
- キヤノンカラーネットワークプリンター Unit-H1
- キヤノン imagePASS-H1

## Profile Editor

### プロファイルの保存 (Mac OS v10.7 および v10.8)

Mac OS v10.7 および v10.8 では、Profile Editor にプロファイルを保存する場合、フィールドに2バイト文字を入力して Return キーを押すと、その文字は有効になりません。入力した文字を有効にするには、代わりに Tab キーを押してください。

### Profile Editor (Mac OS v10.6.1 の場合)

Mac OS v10.6.1 上の Color Profiler Suite では、Profile Editor を起動できません。Profile Editor を実行するには、Mac OS v10.6.5 へのアップグレードが必要です。

## Verifier

### 2バイト文字のユーザー名

Verifier は、2バイト文字を含むユーザー名でコンピューターにログインしようとした場合には正常に動作しません。2バイト文字を含まない名前ユーザーとしてログインする必要があります。

### UTF8 文字は未対応

Verifier は、ファイル名に UTF8 文字を含んでいるプロファイルを開くことができません。

### 印刷ラベルと印刷プロトコル (Mac OS)

(アジアの言語のみ) Mac OS では、Verifier で (「ファイル」 > 「印刷」 > 「ラベル」 または 「ファイル」 > 「印刷」 > 「プロトコル」 を使用して) ラベルまたはレポートを印刷した場合、出力結果のテキストは文字化けし、グラフはレポートに印刷されません。

### オンラインヘルプ

Verifier でオンラインヘルプを開いても、デフォルトブラウザが Google Chrome の場合、ヘルプは表示されません。別のブラウザを使用してください。

デフォルトブラウザが Internet Explorer の場合、Verifier でオンラインヘルプを開くには、最初に Internet Explorer のセキュリティ設定で ActiveX コンテンツの実行を許可する必要があります。設定されていない場合、ヘルプは表示されません。

## Color Verification Assistant

### ラベル印刷

Windows の Color Verification Assistant では、Fiery サーバーに対してテスト結果付きのラベル印刷を実行し、プリンターのプロパティを変更しようとする、「Fiery 印刷」ウィンドウに何も表示されない可能性があります。この場合は、Fiery サーバーの「待機」キューにラベル印刷を実行したうえで、Command WorkStation でラベル印刷用のジョブのプロパティを設定する必要があります。

## Verifierでのテスト結果の表示

テストデータを Verifier に表示するためにリンクをクリックしても、Verifier がすでに開かれている場合はデータが表示されません。開いている Verifier を閉じ、再度リンクをクリックする必要があります。

2 バイト文字向けの設定が行われているオペレーティングシステム上の Color Verification Assistant では、テストデータを Verifier に表示するリンクによってエラーが発生するため、データは表示されません。

## Auto Verifier

### テストページのためのCMYKソースプロファイル設定

Auto Verifier では、Fiery サーバーの自動検証を有効にしている、CMYK ソースプロファイル用にデフォルト設定を「変換を省略」に設定している場合 (または同様の設定をしたサーバープリセットまたは仮想プリンターを選択した場合)、テストページは出力されません。CMYK ソースプロファイルを特定のプロファイルに設定する必要があります。